

総合事業経営による農業と地域への貢献宣言

JAとうとは、これまでも、これからも
総合事業経営により農業と地域へ貢献します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの対話を通じて、農業者の所得増大と地域の活性化に取り組みます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、本来、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談や生活相談事業を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の振興や地域づくりを応援していただける方は、農業の応援団として准組合員加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支の中で実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農アドバイザー・TACの配置や営農施設への投資が可能です。

主な取り組みは次のとおりです。

1. 農業への貢献

- ①主食用米の買取販売の拡大
- ②おいしい米づくりに向けた土壌診断や食味検査を実施
- ③担い手に対する収益力向上策の提案
- ④農業施設整備積立金の設置（積立目標額2億円）

2. 地域への貢献

- ①地元3市（多治見市、土岐市、瑞浪市）への災害時用備品等の寄贈
- ②児童、園児を対象とした農業体験教室の開催
- ③地域の伝統行事の保存等地域活性化の取り組みに対する助成
- ④支店協同活動を通じた地域行事への参画

JAとうとは、これまでも、これからも、農業者（正組合員）と農業の応援団（准組合員）とともに、総合事業経営により農業と地域へ貢献することを、ここに宣言します。

令和元年6月21日

第22年度 陶都信用農業協同組合 総代会